



第2号

令和8年10月2日
富山県立富山総合支援学校
進路指導部

「学校生活と卒業後の生活のつながり」

進路指導部担当教頭 山崎 勝

現在、進路指導部では、11月の高等部就業体験に向けて体験先の依頼に当たっています。体験先を選ぶにあたり、ご家庭で話し合いをしていただきありがとうございます。

夏季休業中に、ある企業の方の話を聞く機会がありました。企業の方は、「働くこと」は「自分の行動に責任をもつこと」であると話されました。学校生活は子どもたちを育てる環境です。ところが、社会人の生活の中でも職業生活は働く環境になります。社会人や働く環境で求められることとして、気付いたことを以下に記します。

- ・笑顔で、元気よく挨拶ができること
- ・自分の体調管理や気持ちの調整ができること
- ・分からないことは、すぐに質問ができること
- ・自分から報告ができること
- ・失敗したことを隠さずに、すぐに謝罪し、報告・相談ができること など

創立60周年を迎える本校の校訓は「自主 明朗 誠実 努力」です。環境は違いますが、学校生活が卒業後の生活につながっていきます。ご家庭で子どもを交えて、達成ができている点と努力が必要な点を話し合っただけであれば幸いです。今後のよりよい進路指導に向けて、引き続きご協力をお願いします。

高等部就業体験

☆高等部2、3年生は、企業や福祉事業所で就業体験を行いました。

高等部2年生 就業体験先 (6月8日～6月19日)

<企業等>

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| ・黒部クリーンアンドグリーンサービス株式会社 | ・株式会社大阪屋ショップ 婦中店 |
| ・株式会社富士薬品ユニバーサルネット | ・株式会社大阪屋ショップ 入善店 |
| ・株式会社サンリッツ | ・株式会社大阪屋ショップ 北新町店 |
| ・国立大学法人富山大学 キャンパスクリーンチーム | ・ネッツトヨタ富山株式会社本店 |

<就労移行支援事業所>

- ・ヴィストキャリア富山駅前

<就労継続支援A型事業所>

- ・オーシャン

- ・self-A ハニービー環水公園前

<就労継続支援B型事業所>

- | | |
|---------------------------|-------------|
| ・日本社会福祉デザインセンターB型 | ・セリュー |
| ・多機能型施設 ジョブステーションさくら奥田事業所 | ・やねのうえのガチョウ |



高等部3年生 就業体験先 (6月1日～6月19日)

<企業等>

- ・株式会社ムラタコスモス富山分室
- ・富山赤十字病院
- ・株式会社大阪屋ショップ 藤木店
- ・老人介護事業所 あさひホーム吉作
- ・株式会社河村産業所鉄工事業部 (富山大沢野工場)
- ・日清医療食品株式会社北陸営業所 (富山市民病院)
- ・阪神化成工業株式会社

<就労継続支援B型事業所>

- ・すまいる・きやりあ

<生活介護事業所>

- ・婦中生活介護事業所つつじ
- ・だいだい
- ・Bee こぼん りすの森
- ・生活介護 あゆみの郷
- ・ぼらハートつくし



作業をするときに、分からないことは、自分から進んで事業所の方に声を掛けて解決するようにしました。今後は、作業する時間とそれ以外の休憩時間において、話し方にもメリハリ付けられるよう、普段の学校生活の中でも気を付けていきたいです。
(生徒)

初めての体験先でしたが、自分の得意とする分野だけでなく経験も広がり、可能性が広がったように思います。想像以上の実力を発揮していたように思い、また一つの成功体験となったように思います。
(保護者)

これからは、作業に必要なものには触らないようにして、集中して作業したいです。また、日頃から正しい言葉遣いで挨拶をしたり、生活や仕事に必要な漢字を正しくきれいに書いたりしていきたいです。
(生徒)

睡眠時間の確保や休養は、本人が自分でペースを作っていたので無遅刻無欠勤を目標にサポートしました。厳重に管理されたエリアの作業だったので、散髪や髭剃りなどの身だしなみに気を配るように声掛けしました。
(保護者)

体験中は、シーツ交換のとき、久々に忘れていたことがあったので土日に練習をしました。常にメモ帳を持ち、注意やアドバイスされたことはすぐにメモを取りました。
(生徒)

体験先に行く際は、リラックスして過ごせるように声掛けをしました。何度か同じ施設を体験しているので、施設の方や利用者の方と交流ができて嬉しかったです。
(保護者)

【評価と課題】 体験先の方から貴重なご意見やアドバイスをいただきました。

- 評価
- ・一人ではできないことがあるときに、周りの人に自ら声を掛けて解決することができており、とてもよかった。
 - ・丁寧な話し方や受け答えができており、非常に好感がもてた。
 - ・与えられた仕事を最後までやり抜き、真面目に仕事に取り組む姿がよかった。
 - ・弱音を吐くことなく、最後まで一生懸命仕事に取り組む姿がよかった。
- 課題
- ・作業方法を自己流にせず、指示されたとおりに取り組んでほしい。
 - ・遅刻をしたり、物をなくしたりすることがあったので、自己管理をしっかりとできるようになってほしい。
 - ・仕事が難しくなっても、イライラしたり、やる気をなくしたりしないように情緒を安定させられるとよい。

就労支援セミナー

7月16日



富山労働局主催の特別支援学校就労支援セミナーが開催され、企業就労希望の高等部1～3年生の生徒14名と本校保護者2名、教職員8名が参加しました。

富山労働局職業対策課 就職支援コーディネーター 端 久美 氏からは、「地域における障害者雇用の現状について」というテーマで、障害別の就職状況や就労支援機関について話していただきました。

富山障害者就業・生活支援センター 就業支援ワーカー 田中 康平 氏からは、障害者就業・生活支援センターが、就労や生活の相談を受け、各関係機関と連携して支援に当たっていることや、「働くために必要なこと」などについて話をしていただきました。その中で生活習慣、身だしなみ、明るく元気な挨拶などの就労レディネスの土台が大切であり、土台がしっかりしていないと、就労のピラミッドも崩れるという話がありました。

障害者就労アドバイザーである小林製薬チャレンジド株式会社 代表取締役社長 濱井 功 氏からは、「在学中に身に付けたい力について」というテーマで、お話をいただきました。基本的な生活習慣を身に付ける。家の中で役割をもち、一つでもできることを増やす。働く意欲（仕事への姿勢、就労意欲）をもつなどが大切であるとのことでした。

参加した生徒からは、「仕事に就くには生活習慣を整えることが大事だと思った。」「自分の身に付けるべき力を考えることができた。」などの感想が聞かれ、大変有意義なセミナーとなりました。

県庁職場体験 8月

高等部の生徒4名が8月中に、県庁での職場体験に参加しました。障害福祉課（ハンコ押し等）、農村整備課（書類のコピー等）、教育企画課（例規集へのインデックス貼り等）、管理課（メール便のラベル貼り等）に分かれ、県庁での仕事を体験させていただきました。担当の方に丁寧に教えていただきながら、一人ひとりが責任をもち、集中して仕事に取り組む姿がみられました。県庁で実際の仕事を体験し、将来の社会参加に向けて考える機会となりました。

高等部 ～職業講話「先輩に学ぶ」～ 9月10日

高等部の就労希望生徒と保護者を対象に、就労している令和6年度卒業生3名から、現在の仕事内容や通勤方法、在学中に身に付けておけばよいことなどの話を聞きました。その一部を紹介します。

- ・早寝、早起きをすること。
- ・遅刻しないようにすること。
- ・朝ごはんを食べること。
- ・持ち物の準備を前日にすること。
- ・基本的な挨拶や接客用語を繰り返し練習すること。
- ・体力を付けること。
- ・思い出をたくさんつくること。

<職場の方から3名の先輩の仕事の様子を聞きました>

- ・確認しながら、仕事ができている。
- ・体力が付いてきている。
- ・作業スピードは上がってきている。
- ・仕事を説明し、やり方を見せると、次からは正しく仕事ができるようになっている。
- ・真面目、しっかりとしている。
- ・チームで働いているので、「報告・連絡・相談」が大事である。

富山県中小企業家同友会 会社見学・体験会 7・8月

夏季休業中に、中学部は会社見学、高等部は会社見学及び体験をしました。

多くの会社にご協力いただき貴重な経験をさせていただきました。難しい仕事もあったようですが、担当の方に優しく教えてもらい、楽しい体験になりました。実際の仕事を体験することができ、有意義な時間を過ごしました。

今回ご協力いただいた会社と見学・体験の内容は以下の通りです。

見学・体験先	内容	見学・体験先	内容
株式会社シムラ	植木の刈込、草取り	株式会社ブルーアーチ	バルーン装飾、ギフト作成
有限会社北山ナーセリー	農園、店舗での作業	株式会社なかたに印刷	名刺作り、クラフト
株式会社ハマ企画	畑仕事	株式会社桑原	金属ベアリング製品検査
株式会社やらんまいけ富山	軽作業	特定非営利活動法人 プラスワン	お菓子作り

各学部の実組

小学部 ～夏休みの生活より～

食器洗い、お洗濯、お風呂そうじ、トイレそうじのお手伝いをしました。一番がんばったのはそうじきを使ったそうじです。
(2学年児童)



掃除の手伝いをしました。フロアモップで廊下をふきました。きれいになってすっきりしました。お母さんに喜んでもらえてとてもうれしかったです。

(5学年児童)



中学部 ～夏休みの生活より～

高等部の体験学習会に参加しました。生活文化科ではミシンを使った鍋敷き作り、産業工芸科ではコースター作りを体験しました。物を作る技術だけでなく、報告など言葉で伝えることが大切だと知ることができました。
(3学年生徒)

初めて仕事見学会に参加しました。説明を聞いたときは難しいかなと思いましたが、段々とコツをつかんでラベンダーの穂先を上手に取れるようになり感心しました。貴重な体験ができてよかったです。

(2学年保護者)



次回は令和8年12月に発行の予定です。児童生徒の自立と社会参加の推進を目的に、今後も関係機関と連携して、就労支援の充実を図ってきたいと思います。